

## 2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉特論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年		学期及び曜時間	前期 金曜2限	教室名	5校舎10階
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験とその関連資格	法務省さいたま少年鑑別所で心理技官(臨床心理士)として審査・鑑別業務に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
犯罪・非行、犯罪被害・家事事件についての基本的知識、司法・犯罪分野の問題に必要な心理的支援等について説明できるようにする。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考図書) 犯罪者プロファイリング入門 桐生正幸 他 北大路書房 犯罪に挑む心理学 笠井達夫 他 北大路書房 等						
《授業外における学習方法》						
授業で配布されたレジュメの内容を、復習としてもう一度清書してください。その際に、十分理解していない部分は自分で調べるひと手間があると、より学習が進みます。						
《履修に当たっての留意点》						
出来るだけ具体例を紹介しますが、事例によっては気分が悪くなることもあります。ご了承ください。また心理学検定を想定し、試験に出題される部分もとりあげる予定です。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	犯罪心理学の扱う範囲について、概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読	
		各コマに おける 授業予定	犯罪心理学とは何か、犯罪心理学に含まれる各論 等			
第2回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	FBI式のプロファイリングの特徴を概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読	
		各コマに おける 授業予定	犯罪者プロファイリング、FBI方式の特徴、世界で最初のプロファイリング 等			
第3回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	リバプール式のプロファイリングの特徴を概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読	
		各コマに おける 授業予定	リバプール式のプロファイリングと具体例、日本のプロファイリング 等			
第4回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	刑法39条を暗記し、医療観察法について説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読	
		各コマに おける 授業予定	刑法39条、医療観察法、法律の変遷 他			
第5回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	犯罪精神医学の実証的なデータから読み取れる知見について、概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読	
		各コマに おける 授業予定	犯罪と精神疾患のかかわり 等			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	多角的な視点から犯人の心理を考察できるようになる①	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	秋葉原通り魔殺傷事件(事例)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	多角的な視点から犯人の心理を考察できるようになる②	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	附属池田小学校殺傷事件(事例)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	多角的な視点から犯人の心理を考察できるようになる③	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	津山30人殺し事件(事例)		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	多角的な視点から犯人の心理を考察できるようになる④	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	宮崎勤事件(事例)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	家庭環境や育ちが犯罪とどのように関連するか概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	離婚と再婚、地域性、貧困など、家庭の要因と犯罪のかかわり等		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	自白における心理学的な研究を概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	自白、えん罪、偽りの記憶が造られるプロセス 等		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	目撃証言における心理学的な研究を概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	武器注目効果、目撃証言と記憶の改訂、子供の記憶 等		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	犯罪被害者に対する心理的支援について、概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	犯罪被害者に対する心理的アプローチ、犯罪被害者のための法律 等		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	犯罪加害者に対する心理的支援について、概ね説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	性犯罪、薬物依存、発達障害、パーソナリティ障害、心理的支援等		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	ここまで学んできた内容を総じて概観できるようになる。	PC レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	総まとめ		